

報道関係者各位
プレスリリース

2022年6月14日
株式会社 Braveridge

無人航空機への搭載義務化で話題の“リモート ID”を 6/21 より開催される「Japan Drone 2022」に出展！

無人航空機への搭載が義務化されるリモート ID の製品化を発表した株式会社 Braveridge（ブレイブリッジ、本社：福岡県福岡市西区、代表取締役社長 小橋 泰成、以下 Braveridge）は、2022年6月21日(火)から幕張メッセで開催される「Japan Drone 2022」に出展します。



■開催概要

「Japan Drone 2022」は日本最大のドローンに関する製品・サービス/システムが一堂に集まる国際展示会&コンファレンス。くしくも、今年はドローン業界の大きな話題であるリモート ID（※）搭載義務化が開始される6月20日(月)の翌日からの開催となっています。

Braveridge は、5月26日(木)に発表した、圧倒的な低価格を実現したバッテリーレス仕様基板タイプの『リモート ID』の実機をブースで展示します。

※リモート ID は自動車のナンバープレートのようなもので、リモート ID 機器から電波で機体の識別信号を発信することによって飛行中の機体の登録を判別可能にします。

展示会名	Japan Drone 2022
開催日時	2022年6月21日(火)～23日(木) 10:00～17:00
開催場所	幕張メッセ
小間番号	AP-05
主催	一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会
共催	株式会社コングレ
公式サイト	https://ssl.japan-drone.com/index.html



※2022年6月14日時点の会場配置です。会期までに変更となる場合があります。

■展示予定製品：『リモート ID』

通信デバイスメーカーでもあり通信モジュールメーカーでもある Braveridge が、自社製モジュールを使って自社開発し自社国内工場で生産することによって圧倒的な低価格を実現した『リモート ID』です。

バッテリーレス仕様の基板タイプで小型軽量化を実現しました。産業用、農薬散布用など大型ドローンだけでなく、FPV ドローンなど小型ドローンでも利用できます。



筐体外部への取り付け、筐体内部への組み込み、その筐体の構造や材質などによって、最適なアンテナで利用できるよう、基板にアンテナを内蔵するタイプと、外付けアンテナを接続するタイプの2種類をラインアップしており、これらを展示するほか、今後計画している MAVLink 対応 GNSS モジュールレスタイプや、電池内蔵外付けタイプなどの参考品も展示予定です。

飛行ログの保存が可能な専用アプリ（2022年8月に公開予定）のプロトタイプも展示します。

●『リモート ID』製品情報：<https://www.braveridge.com/product/archives/49>

■会社概要

名称：株式会社 Braveridge
 代表：代表取締役社長 小橋 泰成
 資本金：100,000,000 円

所在地：福岡県福岡市西区周船寺 3-27-2
 設立：2004年7月
 URL：<https://www.braveridge.com/>

株式会社 Braveridge は、累計 100 万台以上の IoT デバイス製造・販売を行ってきた『IoT デバイス屋』。福岡に自社工場を持ち、Bluetooth®LE や LTE-M など無線通信技術を軸に、IoT デバイスの企画・開発・量産・販売を行っています。『IoT デバイス屋』の目線で考え抜いた、IoT デバイスを API で操作する IoT ネットワークサービス、IoT センサーデバイス開発を効率化するハードウェアユニットシステムといったクラウドとハードウェアのプラットフォームで IoT システム開発を最速化。総合的な IoT サービスの実現環境を提供しています。